

一般質問

(一般質問は3面にも掲載)

生活困窮者救済のため

第2のセーフティネットの構築を

公明党 野田 毅

一 スーパービジョン(※)の現状と課題について

問 ソーシャルスキル研修会は、児童・生徒の社会性を高めるため実施しているが、受講した教員の実践での取り組みはどうか。

答 コミュニケーションのスキルを高める授業や、児童・生徒にトレーニングを行い、人間関係に起因するトラブルを改善する取り組みなどを行っている。今後も研修会の成果を活用し、問題行動の未然防止に取り組んでいきたい。

二 生活保護に関する相談内容の現状と課題について

問 生活保護の相談において、申請に至らない場合はどのようなか。

鳥獣対策を推進し

営農者の生涯意欲を高める

新政クラブ 高橋 徹夫

一 鳥獣対策について

問 農業を取り巻く環境は、高齢化や後継者不足など多くの課題が山積している上、苦勞して生産した野菜や果樹が鳥獣による被害にあい、生産意欲を損ねている。被害状況の把握や対策はどのようか。

答 平成22年度に農協と共催して鳥獣被害調査を実施し、852件、79ヘクタールで2450万円の被害であった。この調査を基に被害状況マップを作成して、防護柵の設置や銃器、おとりによる捕獲などの対策を講じてきた。

問 鳥獣対策は、本市だけで実施しても効果が少ないため、県や広域での対策が必要と思うがどうか。

答 生活全般について相談するごとで最低生活の維持が可能と見込まれる場合や、相談により不安が解消され申請されない場合がある。生活保護における自立の助長について、どう認識しているのか。

答 保護受給者の状況に応じて、世帯が抱える問題などに対して援助の方針を決定し、関係機関などと連携を取りながら、問題解決に向けた支援を行っている。また、時代や生活スタイルの変化などに対応する必要がある場合は、制度の改正を国や県に働き掛けていきたい。

要望 生活保護法に頼るのではなく、生活困窮者救済のため、第2のセーフティネットの構築や整備を早急に検討してほしい。

礼に始まり礼に終わる

柔道が中学校の必須科目に

緑水クラブ 高橋 文雄

一 秦野駅南部(今泉地区)土地区画整理事業について

問 秦野駅南部は今泉地区が未整備で、市の支援で事業が進められているが、①進捗よく状況は、②工期中の固定資産税の軽減は、③市内業者の参入状況はどのようか。

答 ①中央部の農地地域は準備委員会が結成され、平成24年度内の

市民にとって読みやすい

マンガ本の蔵書を増やせ

無所属 折口 隆二郎

一 市立図書館等へのマンガ本の増冊について

問 図書館の蔵書について、マンガ本の冊数が大変少ない上、寄贈されたものや古いものなど保存状態も悪い。市民からの寄附を求めると増冊を考えてはどうか。

答 蔵書とする資料については、資料の利用状況や収集計画に照らしながら、図書館協議会からの意見により選定している。漫画については児童向け学習マンガや大人

自転車走行環境の整備と

安全対策の強化を

公明党 山下 博己

一 自転車走行環境の整備について

問 自転車の対人事故件数が増加傾向にあるため、専用レーン確保や交差点の2段階停止線設置などの環境整備をすべきと思うがどうか。

答 警察や道路管理者との協議で可能性について検討していきたい。法令違反は犯罪で罰則規定のある旨を標語で啓発するとともに、あらゆる年齢層を対象とした交通安全教育が必要と考えるがどうか。



自転車専用レーンの確保を

を必修とするが、礼儀作法の指導と事故の未然防止策はどのようか。また、新学習指導要領による指導方法の変更点と学校現場での対応はどのようか。

答 礼に始まり礼に終わる礼儀作法や相手を尊重する態度、勝敗に対する公正な態度や禁止手などの規範意識の育成に取り組むとともに、授業の半分は受け身の指導とするなど事故防止に努めている。新学習指導要領の主な改善事項は、言語活動の充実などがあり、県や市の研修を通じ、授業の在り方などを指導していく。

要望 たび重なる指導方針の変更で学力低下が見られるため、効果が上がるように努めてほしい。

二 職員給与について

要望 国は東日本大震災の復興財源の一部に充てるため、臨時特例で国家公務員の給料の大幅削減を決めた。財政状況が厳しい本市においても、国家公務員並みの給与の削減をしてほしい。

二 学校設備等の充実について

問 全学校に空調を整備し環境格差を是正するには、多大な費用を要するが、民間活力を利用したPFI手法により早期かつ同時期整備が可能になると考えるがどうか。

答 有効な手法であるが、課題もあるため、最も有効かつ効果的な導入方法を研究していきたい。

要望 栄養面、食育面から中学校完全給食は必要であると思うが、費用の問題もあるため、PFI手法の活用により実現してほしい。

三 DV被害者支援体制について

生ごみ分別収集モデル事業をやめ

生ごみ処理機の普及拡大を図れ

民政会 和田 厚行

一 ごみ処理基本計画について

問 計画では、生ごみ分別収集モデル事業の拡大が前面に掲載され推進するところがあるが、事業を拡大するために、多額の予算が必要となる。計画を見直し、地球温暖化防止にも貢献でき、多額の予算も必要としない生ごみ処理機の普及拡大を図るべきと思うがどうか。

答 可燃ごみ減量のため、ごみ排出の啓発や生ごみ処理機の普及啓発、コンポスター容器のあつせんなどにより生ごみ減量を進めているが、さらに、ごみ減量通信やホームページなどを充実させたPR活動に努め、生ごみ処理機の普及拡大に取り組んでいきたい。

意見 生ごみ処理機の拡大によるごみ減量を推進すべきである。

二 四十八瀬川の整備について

問 20年前に整備計画が作成され、都市計画決定されているが、現在



生ごみ処理機の普及拡大でごみの減量化を

市民の利便性を図るため

コンビニを利用した窓口業務の実現を

緑水クラブ 込山 弘行

一 住民票等の民間窓口開設について

問 平成19年度から一部の窓口で土曜開庁を実施しているが、さらなる多様なニーズに応えるためにも、休日開庁や業務時間の延長が必要であり、コンビニエンスストアを利用した24時間体制での窓口業務の委託を行うことで、市民サービスの向上や人件費の抑制にもつながると考えるがどうか。

答 全国43の自治体でコンビニ交付を実施しており、市外に通勤、通学する人には便利な制度のため市民サービスの向上につながると認識しているが、導入には多額の経費がかかる。また、利用には住民基本台帳カードが必要であるが

交付率が低い。今後はカードの普及を図るとともに他の自治体の情報にも注視していきたい。

要望 経費等の削減を図るためにも民間窓口の導入を考えてほしい。

二 埋蔵文化財の調査と報告について

問 本来、埋蔵文化財は発掘せず、未永く国民の財産とすべきであるが、①発掘された文化財の保存や活用はどのようか。②報告書の作成状況はどうか。

答 ①余裕教室や展示館の収蔵庫に保管し、2週間に1度確認している。また、特別展や講演会などを定期的に実施している。②30件を刊行したが、整理作業が間に合わなかった64件は、概要を一秦野の文化財」に掲載している。

用語解説 (※)スーパービジョン…教育や福祉の相談援助の技術。